

山梨県立大学 3つの方針

大学	山梨県立大学
----	--------

目的・理念

「グローバルな知の拠点となる大学」、「未来の実践的担い手を育てる大学」、「地域に開かれ地域と向き合う大学」たることを希求し、人間と社会に対する学術的研究、豊かな人間性及び専門的な職業能力を備えた人材の育成並びに地域社会に対する実践的な貢献を通じて、豊かで活力ある社会の発展に寄与する。

教育目標

- 山梨県立大学は、郷土の豊かな自然と歴史や文化を大切に、山梨県を学びのキャンパスとして、ここに学ぶ者の豊かな感性を育みます。
- 山梨県立大学は、幅広い教養と高度な専門性を教授し、地域社会や世界で活躍できる人材を育てます。
- 山梨県立大学は、基礎研究から応用研究まで、独創的で多様な研究に挑戦し、学術の発展に貢献します。
- 山梨県立大学は、自ら学び、自らを培い、未来を切り拓く人材を育てます。また、緊密な人間関係を基盤に、知的刺激に満ちた教育環境を創ります。
- 山梨県立大学は、地域課題の解決に向けて積極的に取り組み、地域の発展に貢献します。また、アジアをはじめとする世界との連携をはかり、教育・研究活動を通じて国際社会の発展に貢献します。
- 山梨県立大学は、時代の変化に対応した個性豊かな魅力ある大学づくりを推進します。そのために、評価を通じて不断の改革を推進し、社会への責任を果たします。
<大学憲章>

学位授与の方針

本学の理念・目的及び教育目標に基づき、学生の学修成果が次の到達目標に達し、『学士力』を身に付けていると認められる者に、学士(専門分野)の学位を授与する。
1. 全学に共通する以下の「学士基盤力」を身に付けている。
・自然・社会・文化を大切にするとともに、専攻する特定の学問分野における基本的な知識を体系的に理解し、その知識体系の意味と自己の存在を自然・社会・文化と関連付けて理解している。(自然・社会・文化理解)
・豊かな感性や想像力、表現力を身に付けている。(想像力・表現力)
・自身の未来を切り拓くために独創的に思考し、問題の発見・探究・解決に向けて行動することができる。(実践力・問題解決力)
・発展的な人間関係の形成に向けて、自己省察や他者理解に努めることができる。(人間関係形成力)
・自ら学び、成長する意欲や態度を備えている。(自己学修力)
・地域的・地球的課題に関心をもち、その解決を志向できる。(地域・国際コミットメント力)
2. 各専門分野における「学士専門力」を身に付けている。

「学士力」

「学士基盤力」

学修成果		測定方法
自然・社会・文化を大切にするとともに、専攻する特定の学問分野における基本的な知識を体系的に理解し、その知識体系の意味と自己の存在を自然・社会・文化と関連付けて理解している。(教育目標1・2)	自然・社会・文化理解	・カリキュラムマップにて示す「自然・社会・文化理解」に係る科目の授業評価における学士力到達度に関する自己評価(何科目開講し、何人が受講して、授業評価における学士力到達度の自己評価は平均何点だった) ・カリキュラムマップにて示す「自然・社会・文化理解」に係る科目の修得(何科目開講し、何人が受講して、何人が単位を修得した)
豊かな感性や想像力、表現力を身に付けている。(教育目標1)	想像力・表現力	・カリキュラムマップにて示す「想像力・表現力」に係る科目の授業評価における学士力到達度に関する自己評価 ・カリキュラムマップにて示す「想像力・表現力」に係る科目の修得
自身の未来を切り拓くために独創的に思考し、問題の発見・探究・解決に向けて行動することができる。(教育目標3・4)	実践力・問題解決力	・カリキュラムマップにて示す「実践力・問題解決力」に係る科目の授業評価における学士力到達度に関する自己評価 ・カリキュラムマップにて示す「実践力・問題解決力」に係る科目の修得
発展的な人間関係の形成に向けて、自己省察や他者理解に努めることができる。(教育目標4)	人間関係形成力	・カリキュラムマップにて示す「人間関係形成力」に係る科目の授業評価における学士力到達度に関する自己評価 ・カリキュラムマップにて示す「人間関係形成力」に係る科目の修得
自ら学び、成長する意欲や態度を備えている。(教育目標4)	自己学修力	・カリキュラムマップにて示す「自己学修力」に係る科目の授業評価における学士力到達度に関する自己評価 ・カリキュラムマップにて示す「自己学修力」に係る科目の修得
地域的・地球的課題に関心をもち、その解決を志向できる。(教育目標5)	地域・国際コミットメント力	・カリキュラムマップにて示す「地域・国際コミットメント力」に係る科目の授業評価における学士力到達度に関する自己評価 ・カリキュラムマップにて示す「地域・国際コミットメント力」に係る科目の修得

教育課程編成の方針

学士(専門分野)に係る学修成果を身に付けるための教育プログラムとして、次の方針に基づき教育課程を編成し実施する。
<総合性に関する方針>
1. 各専門分野を構成する多様な研究領域のつながりを考慮した専門分野の「総合性」を実現する。
<順次性に関する方針>
2. 授業科目区分と履修単位を組み合わせ年次ごとに系統的な学修を促す「順次性」を実現する。
<実施に関する方針>
3. 学生の主体的な学びや深い学びあるいは能動的な学修を促す「体験性」を実現する。

入学者受入れの方針

本学の学位授与方針及び教育課程編成・実施方針を踏まえ、入学者選抜の方針を次のように定める。
<入学前能力>
1. 高等学校レベルの基礎的な知識・技能とともに、思考力、判断力、表現力及び協調性を身に付けている。
<入学後能力>
2. 入学後にグローバルな知と資格教育による専門職に必要な資質能力を身に付けることができる。
<評価方法>
3. 入学者選抜においては、調査書のほか資格・検定試験の成績を加味しながら、確かな学力を評価するための小論文と面接を重視する。